

令和5年度都立蒲田高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語科	言語活動の充実	国語での確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する。	希望する進路実現に向けた活動(話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと)。
地歴公民科	資料を活用した論理的思考力の育成	・すべての科目において資料を授業の中で扱い、資料の読み取りについての指導を行う。 ・読み取った資料をもとに、どのような活用ができるかを検討する。	課題に対して自分の考えをもつとともに、それに対してどのような資料を活用できるかを自分で選び、要素を抽出できるようにする。
数学科	CYOD端末を活用した授業	生徒が所持しているCYOD端末を活用して授業に参加するように指導を行う。	CYOD端末を活用して授業中に発表したり、小テストを行ったりすることができるようにする。
理科	基礎的な知識の習得、課題解決のための思考力や判断力などの育成。	生徒の興味・関心を高めつつ、反復練習などで基礎学力の向上や定着を図る。	実験等で見通しを持ち、仮説を立てて検証していく。
保健体育科	一人一台端末を活用した言語活動の充実	・体育の各競技のゲームを行う際に、一人一台端末を活用して得点などのデータを記録し、改善につなげる。 ・保健の授業では、各授業でグループワーク等を行う。	実技等を通じて身に付けたコミュニケーション能力や社会性を授業以外でも活用する。
芸術科	言語活動の充実	感じ取ったことや、イメージを客観的に他者に伝えられるようになる。	グループワークを通じて、鑑賞を共有する。
英語科	コミュニケーション能力の育成	コミュニケーション能力育成のため、オーラル面を重視した指導を行い、生徒に積極的に取り組ませる。	自分の思いを相手に伝え、相手の意見を正しく理解できるような生徒の育成をする。
家庭科	生きる力の育成	実習や体験を通じて、生きていくために必要な知識、技能を身に付ける。	授業で得た知識、技能を実社会で活かせるようにする。
情報科	情報リテラシーの習得、活用	・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業を実施する。